

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : 酸化イッテルビウム (Ⅲ)
 会社名 : 関東化学株式会社
 住 所 : 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-2-1
 担当部門 : 試薬事業本部 企画管理部 資料課
 電話番号 : 0120-260-489
 F A X 番 号 : (03)3241-1047
 メールアドレス : BC32@gms.kanto.co.jp
 整理番号 : 47000

2. 危険有害性の要約

G H S 分類

物理化学的危険性

可燃性固体 : 区分外
 自然発火性固体 : 区分外
 自己発熱性化学品 : 区分外
 酸化性固体 : 区分外

健康に対する有害性

皮膚腐食性・刺激性 : 区分外
 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分外

特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露)

: 区分 3 (気道刺激性)

絵表示またはシンボル



注意喚起語 : 警告
 危険有害性情報 : 呼吸器への刺激のおそれ

注意書き

安全対策 : 粉じん、ミスト、蒸気などの吸入を避ける。
 換気の良い場所でのみ使用する。
 救急処置 : 吸入した場合: 新鮮な空気の場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪いときは、医師の処置を受ける。
 皮膚に付着した場合: 汚染された衣類および付着物を取り除く。皮膚を流水で洗う。気分が悪いときは、医師の処置を受ける。
 保管 : 容器は密閉して換気の良い場所で保管する。
 施錠して保管する。
 廃棄 : 内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品

化学名又は一般名 : 酸化イッテルビウム(Ⅲ)
 成分及び含有量 : 酸化イッテルビウム(Ⅲ) 99.95%以上
 化学特性(示性式) : Yb₂O₃
 官報公示整理番号
 化審法 : 1-824
 安衛法 : 公表
 CAS No. : 1314-37-0

4. 応急措置

吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。
 皮膚に付着した場合 : 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。
 目に入った場合 : 直ちに流水で十分に洗い流す。
 飲み込んだ場合 : 直ちに水または食塩水を飲ませて吐かせる。必要に応じて医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : この製品自体は、燃焼しない。
 使ってはならない消火剤 : 特になし
 特定の消火方法 : 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。
 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
 : 作業の際は適切な保護具を着用し、飛散したものなどが皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
 技術的対策 : 皮膚に付いたり、粉塵を吸入しないように必要に応じて適切な保護具を着用する。
 保管
 適切な保管条件 : 容器は密栓して冷暗所に保管する。
 安全な容器包装材料 : ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。
 管理濃度 : 設定されていない
 許容濃度
 日本産業衛生学会(2009年度版) : 設定されていない
 ACGIH(2009年度版) : 設定されていない
 保護具
 呼吸器用の保護具 : 防じんマスク
 手の保護具 : 不浸透性保護手袋
 眼の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡

9. 物理的及び化学的性質

形状	: 粉末
色	: 白色
臭い	: 無臭
沸点	: データなし
融点	: 2227℃
密度	: 9.175g/ml (20℃)
溶解性	
溶媒に対する溶解性	: 水 ; 不溶

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常条件で安定である。
反応性	: 安定な物質である。

11. 有害性情報

急性毒性	: 経口：データ不足のため分類できない。 経皮：データ不足のため分類できない。 吸入（蒸気）：データ不足のため分類できない。 吸入（粉塵・ミスト）：データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性・刺激性	: 区分外 皮膚を物理的に刺激するが、区分外とした。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: 区分外 眼を物理的に刺激するが、区分外とした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 呼吸器感作性：データ不足のため分類できない 皮膚感作性：データ不足のため分類できない
生殖細胞変異原性	: データ不足のため分類できない
発がん性	: データ不足のため分類できない
生殖毒性	: データ不足のため分類できない
特定標的臓器・全身毒性－単回暴露	: 呼吸器への刺激のおそれ(区分3) 粉塵を吸入すると、鼻、のど、気管が刺激されることがあるので、区分3(気道刺激性)とした。
特定標的臓器・全身毒性－反復暴露	: データ不足のため分類できない
吸引性呼吸器有害性	: データ不足のため分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性	
魚毒性	: 水生毒性（急性）：データ不足のため分類できない 水生毒性（慢性）：データ不足のため分類できない
残留性／分解性	: 微生物などによる分解性はない。
生態蓄積性	: データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 土中に埋立処理を行う。または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。

14. 輸送上の注意

国内規制 適用法令なし

国連分類 : 分類基準に該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件

: 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

化学物質管理促進法 : 非該当

毒物及び劇物取締法 : 非該当

労働安全衛生法 : 非該当

16. その他の情報

引用文献 Dangerous Properties of Industrial Materials, 6th ed. N. I. Sax他編
Van Nostrand Reinhold Company (1984)

15710の化学商品、化学工業日報社 (2010)

国際化学物質安全性カード (I C S C) 日本語版、化学工業日報社 (1992)

*この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意して下さい。なお、注意事項は通常の実用を目的としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。また、含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。この安全データシート (SDS) は、JIS Z7253に基づいて作成しており、JIS Z7250:2010に基づいて作成した製品安全データシート (MSDS) と記載事項は同一です。